

# MANAGEMENT マネジメントスクエア SQUARE

6

June  
2021  
No.376

■魅力ある千葉の観光

## 夏季集中型から通年型への取り組みが続く 九十九里地域

■会社を強くする！実践経営塾

## 高齢者が働きやすい職場づくり







「魅力ある千葉の観光」



「チャレンジャー」  
四代松乾齋東光  
市松人形師



「新・房総百景」クラインガルテン栗源

魅力ある千葉の観光

# 夏季集中型から通年型への取り組みが続く 九十九里地域

【対談】環境対策が観光振興につながる 4

松下浩明 [山武市長] ×

前田栄治 [株式会社ちばぎん総合研究所 取締役社長]

企業最前線

平時はホテル、災害時は避難施設に早変わりするレスキューホテルを  
全国展開。コンテナの有効活用に取り組む

株式会社デベロップ 12

会社を強くする！ 実践経営塾

高齢者が働きやすい職場づくり

●株式会社忠武建基 18

●株式会社オーティーエス 20

チャレンジャー

近寄りやすい!? イメージのある市松人形を  
もっと親しみやすいものにしていきたい。 26

四代松乾齋東光 [市松人形師]

ここが知りたい 誰もがわかる経営講座

電子契約の進め方と注意点 28

宮内 宏 [宮内・水町 IT 法律事務所]

◆アートシーンを訪ねる 2

開館20周年記念  
サトエ記念21世紀美術館コレクション展

◆Business Trend 14

理解し、活用する方法  
SMM (ソーシャルメディア・マーケティング)  
水越康介 [東京都立大学経済経営学部教授]

◆旅の達人が見た 世界観光事情 16

ブハラ (ウズベキスタン)  
秋山秀一 [旅行作家]

◆新・房総百景 22

滞在型市民農園で、コロナ時代の  
新たなライフスタイルを  
クラインガルテン栗源

◆ちば 歴史のみち紀行 24

日光東往還  
大森章夫 [歴史ライター]

◆講演会録 32

“ノートパソコン”の名付け親が教えます！  
短い言葉を武器にする  
弓削 徹 [株式会社エスト・コミュニケーションズ 代表取締役]

◆科学技術の「いま」を読み解く 36

日本の天文学研究が直面している危機  
高橋真理子 [朝日新聞 科学コーディネーター]

◆シンクタンクの目 37

ペーパーレスから始める中小企業のDX  
石井健也

[株式会社ちばぎん総合研究所 経営コンサル第一部 コンサルタント]

◆ちば経済フラッシュ 38

表紙写真

## 九十九里浜

旭市の刑部岬からいすみ市の太東崎まで、66kmにわたって続く日本最大級の砂浜海岸。全域が千葉県立九十九里自然公園に指定されており、日本の白砂青松100選と日本の渚百選に選定されている。

長く美しい海岸線は、オーストラリアのゴールドコーストと類似した環境であるこ

とから「九十九里コーストライン」と命名され、海水浴や海岸線の散策、ドライブスポットとして多くの観光客に親しまれている。また、「サーファーの聖地」としても有名で、釣ヶ崎海岸 (一宮町) は2020年東京オリンピックのサーフィン競技会場に認定されている。表紙の写真は刑部岬からの風景。





# 平時はホテル、災害時は避難施設に 早変わりするレスキューホテルを全国展開。 コンテナの有効活用に取り組む

## 株式会社デベロップ

コンテナの企画・販売を主事業とする(株)デベロップは、2018(平成30)年からコンテナを活用した1棟1客室型のコンテナホテルの運営を開始。東日本大震災の経験から、平時はホテルとして運営し、災害時は被災地へ移送し避難施設として活用する「レスキューホテル」の仕組みを開発した。近年多発する自然災害や新型コロナウイルス対策として、同ホテルの注目度が高まり、全国の自治体と災害協定締結が進んでいる。さらに、同社はコンテナホテルを投資対象として提案。コンテナの有効活用を模索する岡村健史社長に今後の展望を聞いた。

### 災害時、コンテナホテルを 24時間以内に移送

コンテナといえば、暗い密室空間で物を運搬する頑丈な箱というイメージが強い。しかし、これを快適なホテル空間につくり変えた会社がある。

(株)デベロップが展開しているホテルは、1室13㎡というコンパクトなスペースでありながら、全室が独立しているため、ほぼ完璧な遮音とプライバシーを実現。全室に上質な素材を用いた大きめのベッド、ゆったり使用できるユニ

ットバス、電子レンジや空気清浄機などを装備し、長期宿泊でも快適に過ごせるよう設計されている。

ロードサイドに立地しながら、宿泊の質のよさで人気上昇。リピーターも多く、首都圏を中心に施設を増やしている。このコンテナホテル(商品名:ホテルアールナインザ・ヤード)が今、被災地の「レスキューホテル」としても注目されている。

「運びやすい」というコンテナの利点を最大限に活かすために、岡村健史社長は、平時には快適なホテルとして、有事の際には移送し



出動時はトラクターで移送する

て避難場所として活用するということを思い立った。

「東日本大震災の際に被災地の避難施設を見学したとき、プライバシーも守れない劣悪な環境で、家族がひどく憔悴しているのが分かりました。仮設住宅はプライバシーを守れても完成までに時間がかかります。一時的な避難場所として環境のよい施設をスピーディにつくるために、コンテナのホテルが活用できると思いました」

既に実績はある。2020(令和2)年4月、長崎県佐世保港に停泊中のクルーズ船の新型コロナウイルス感染防止に対応するた



快適な室内を備えた新型コンテナホテル(HOTEL R9 The Yardいすみ)

め、政府および長崎県、クルーズ船会社からの要請を受けて、千葉県・栃木県の全50室のレスキューホテルを長崎に移送。設置、設備の点検まで3日間という短期で完了し、主に医療従事者の宿泊施設として使用された。

予想を超えた激しい風雨を伴う台風、地震など自然災害の多発によって、全国の自治体で防災意識は高まっている。とくに2019(令和元)年の台風19号、昨年来の新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけにレスキューホテルの問い合わせが急増中だ。

医療機関の対応力飽和や院内感染などによる医療崩壊を防ぐた

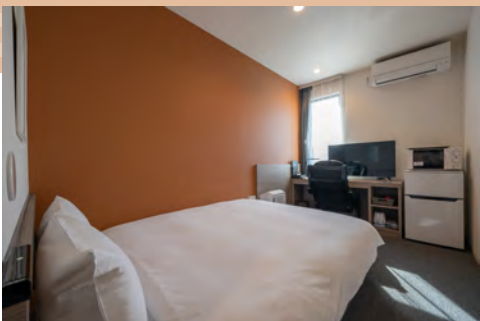
進行しないこともある。

「条例でトレーラー(コンテナ)ホテルが禁止され、レスキューホテルが避難施設として使えない自治体も少なくありません。まずコンテナが活用できる環境整備から着手しなければならぬ地域もあります。確かに災害協定の件数は増えていますが、まだまだ各地でのデモンストレーションを進めていく必要があると思っています」

そのためにも自治体で実施している防災訓練の呼びかけには必ず対応し、レスキューホテルを展示し、現地で見学してもらう取り組みを進めている。

### ホテル事業の 拡大に注力

同社は現在、大別してトランクルームやコンテナの製造・販売に関わるコンテナ事業、太陽光発電の設置や保守などのエネルギー事業、ホテル運営のホテル事業の3つを大きな柱に据えている。この中で最も強いのがコンテナ事業だ。岡村社長は前職でコンテナの企画営業に関わり、コンテナの新たな活用を目指すべく同社を設立した。2008(平成20)年には、それまで輸送用装置だったコンテナを建築物として認められるコンテナ型建築モジュール(ラーメン構造のコンテナ)を開発、事業拡



客室(ダブルルーム)の内観

### レスキューホテルを 投資対象として提案

同社は直接運営するホテルの拠点数を増やす一方で、投資家にレスキューホテルを投

資対象として提案し、ホテル用に製造したコンテナを買い上げてもらう事業もスタートした。

「顧客候補は、付き合いのある全国約250の不動産会社を中心にあります。平時はホテルの事業で収益を上げ、有事



岡村健史社長

の際には医療機関や自治体、各企業にレスキューホテルとして貸し出すことができます。安定した収益を得つつ、災害時には人々の避難生活を支えるので、社会貢献にもつながります」

ホテルが宿泊客に利用されているときにレスキューホテルの出動要請があった場合は、宿泊客に周辺のホテルを紹介して移動してもらう。その宿泊補償は同社と自治体との災害協定によって賄われるという。災害協定にはさまざまな項目があるが、ホテルの移送費、改装などの経費(出動費用)は基本的に自治体が負担する。

「自然災害が発生したとき、被害に遭った人たちの救済は最優先されるべきですが、ホテルに宿泊している人を放置するわけにはいきません。実際の運用面に目を向けると、災害協定がとても大事になります」

投資対象として提案をするためにも、災害協定など自治体との連携は欠かせない。しかし、地域によつては災害協定がスムーズに

大へとつなげた。

「私にとっては、コンテナをどう有効に活用するかを考えることは、幼い子どもがおもちゃで遊ぶのと同じように楽しい。要するにコンテナが大好きなんです」

コンテナの可能性は非常に大きい。イベント会場の受付やチケット売り場、球場のオフィシャルショップなど、コンテナは目立たないところで数多く使用されているが、同社には牛舎用コンテナの試作依頼まで入っているという。

当面、最も力を入れるのは災害協定の進捗とコンテナ(レスキュー)ホテル事業の拡大である。社内の体制づくりとして、近年アジア各域から大卒の新人を採用し、ホテルチームを強化してきた。人材に関しては日本にこだわらない。これからも「世界中から優秀な人材を集めたい」と岡村社長は意欲を示す。

#### 会社概要

設立 2007(平成19)年  
代表者 岡村健史  
所在地 市川市市川1-4-10  
市川ビル8階  
従業員数 400人  
(正社員・パート含む)  
資本金 3000万円  
事業内容 建築・不動産、エネルギー、ホテル、施設管理、資産運用代行  
(千葉銀行取引店 本八幡支店)